

四国の社会基盤の明日を考えるシンポジウム

(愛媛MEの会 フォローアップ研修会)

～インフラを守る土木の魅力発信～

今、土木業界は『デジタル化』や『働き方改革』などとともに、3Kと称された時代から魅力に溢れる業界へと転じはじめています。しかしその一方で、人材不足は深刻さを増しています。

社会の安全・安心な生活づくりを支えるため、私たちは、より一層土木の魅力を発信し、業界全体が『One Team』となって、未来への礎を築き続けなければなりません。



令和5年10月27日(金) 13:30～17:00 (受付13:00～)

場所

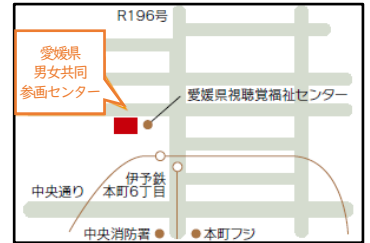
愛媛県男女共同参画センター 多目的ホール
(松山市山越町450番地)

共催 : 愛媛MEの会 / 愛媛大学防災情報研究センター

後援 : CTB-ehime / 一般社団法人愛媛県建設業協会
/ 一般社団法人建設コンサルタンツ協会四国支部

※ 土木学会CPD 対象プログラム

参加費
無料
(定員300名)



特設HP QRコード →



参加申込

特設HP URL : <https://sites.google.com/view/ehime-me-symposium/>

申込期限 「令和5年10月13日(金)」

| | | |
|---------------|----------|--|
| 13:30～13:40 | 開会の挨拶 | 愛媛MEの会 会長 片山 直道 |
| 13:40～14:40 | 事例紹介 | 担い手確保の取り組み, デジタル技術の活用による人材不足への対応 |
| (13:40～13:55) | | 「愛媛県土木部の戦略的広報と土木職員の確保について」 愛媛県土木部土木管理課技術企画室 主幹 明日 俊幸 氏 |
| (13:55～14:10) | | 「建設 DX 活用等による担い手確保の当会の取り組み」 一般社団法人愛媛県建設業協会 常務理事・事務局長 関谷 慎吾 氏 |
| (14:10～14:25) | | 「担い手確保、デジタル技術活用に関する建設コンサルタンの取組」 建設コンサルタンツ協会四国支部 若手の会 (株)芙蓉コンサルタント設計部第3グループ グループ長 中藤 亮太 氏 |
| (14:25～14:40) | | 「インフラメンテナンス技術者教育のためのデジタルプラットフォーム構想」 愛媛大学大学院理工学研究科・社会基盤iセンシングセンター 准教授 河合 慶有 |
| | 休憩 (20分) | |
| 15:00～16:50 | 特別講演 | 「デミーとマツの土木の魅力塾」 長崎大学大学院工学研究科 出水 享 氏 (デミー) (株)インフラ・ラボ 代表取締役 松永 昭吾 氏 (マツ) |
| 16:50～17:00 | 閉会の挨拶 | 愛媛大学大学院理工学研究科・防災情報研究センター 教授 森脇 亮 |

※ 閉会后、18:30からリジェール松山にて交流会〔会費：6,000円〕を開催します。
どなたでも参加できます。できるかぎり参加登録時にお申し込みください。

お問合せ先

愛媛大学防災情報研究センター
TEL. 089-927-9021

E-mail kensien@stu.ehime-u.ac.jp
ホームページ <https://cdmir.jp/>



特別講演「デミーとマツの土木の魅力塾」



デミー博士

出水享（でみずあきら）

土木学者・土木技術者・工学博士・土木PRタレント・YouTuber。
2014年にドローンの空撮画像から軍艦島3D製作。2015年に軍艦島3Dでグッドデザイン賞。2016年に研究で開発した技術が国土技術開発賞（国土交通大臣表彰）。土木は『空気のような存在』。あって当たり前、ないと生きていけません。土木の存在や役割を知ってもらえるように土木をアピールして行きます。長崎大学に勤務。

マツ博士

松永昭吾（まつながしょうご）

土木技術者。博士（工学）、技術士（総合技術監理、建設）。
「橋の町医者」として、計画、設計、点検、診断、耐震設計に従事。
人や社会に対する優しさをインフラという「かたち」にできるのが土木のミリョクと考えています。インフラ・ラボ代表店長。
（一社）ツタワールドボク副会長。



噂の土木応援チームデミーとマツHPより <https://doboku.wixsite.com/index>

ME／社会基盤メンテナンスエキスパートとは？

MEは、メンテナンスエキスパート [Maintenance Expert] を略したもの。

現在の豊かな社会環境・経済活動は、高度成長期の頃より建設・整備された社会基盤施設 [インフラ] により支えられていますが、これらインフラの高齢・老朽化が進行し、今後どのようにして健全に維持・管理するかが喫緊の課題となっています。

このような状況の中、愛媛大学では、産官学協働で実施する教育プログラム「社会基盤メンテナンスエキスパート養成講座」を提供し、インフラ維持管理技術に関する高度な知識と技術を有する技術者集団を養成しており、プログラムの修了者は『四国メンテナンスエキスパート（四国ME）』として認定されています。

四国MEの認定者（全9期：210名）は、愛媛MEの会として様々な活動をしています。

詳しい活動内容は以下をご覧ください。

愛媛MEの会Facebook <https://www.facebook.com/ehime.maintenance.experts>

愛媛大学ME養成講座 HP <http://www.cee.ehime-u.ac.jp/me/>

